

《冬期間の労働災害防止》

- 走るな！、転ぶぞ！、屋外作業、凍結路面は目に見えないぞ！
- 寒い外、心も体も、冷えている、あせると危ない、冬の外仕事
- 作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう

- 作業する時、トラック(荷台も)に乗る時、降りる時は安全靴の底の雪を落とす
- トラック(荷台も)から降りる時は、路面の状況を確認し、飛び降りることは厳禁
- ポケットに手を突っ込んで歩かない
- 積雪時の構内、現場内は細心の注意を払い、常に足元の確認

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

冬のスリップ事故に注意

スピードを落とし、普段の2倍以上の車間距離

急ブレーキ・急ハンドル・急発進 「急」のつく操作は、スリップの原因

日没前後の「薄暮時間帯」は注意！ 歩行者を見落とさないように気を付けましょう！

バックする時 「たぶんいないだろう・・・」は、ダメ

信号待ち車への追突 漫然運転、わき見運転に注意しましょう

確認してから、ハンドル操作 すべての操作は、必ず確認してから行いましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

午後6時 片側2車線 中央分離帯近く 右から横断の高齢女性

キャリアカーにはねられ意識不明の重体

- ◇夜間 右からの横断歩行者・自転車は、『発見が遅れる』ので注意しましょう◇
- ◇夜間・・・ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2024/12/25(水)

24日午後6時前、岐阜県の片側2車線の県道の中央分離帯にあるポールの近くを通り、自転車で横断していた高齢の女性が、左から走ってきたキャリアカーにはねられ、体を強く打ち病院に運ばれましたが、肋骨などを折っていて、意識不明の重体となっています。警察は、仕事でキャリアカーを運転していた男性(27)から話を聞くとともに、ドライブレコーダーの映像を解析するなどして当時の状況を詳しく調べています。

ニセコ 凍結防止剤を散布作業中の除雪車と 軽乗用車が正面衝突 軽乗用車の40代女性が搬送

- ◇凍結路面 スピードダウンと車間距離◇
- ◇凍結路面では、急ブレーキ、急ハンドルは禁物！◇

2024/12/25(水)

25日午前8時前、ニセコ町の国道5号で軽乗用車と対向車線を走っていた除雪車が正面衝突しました。この事故で軽乗用車に乗っていた40代の女性がけがをして病院に搬送されたということです。現場は片側1車線で、当時除雪車は凍結防止剤の散布作業中でした。

午前6時 路面凍結 ワゴン車がスリップ 路肩のガードレールに衝突 後続の乗用車など2台が接触

- ◇凍結路面 スピードダウンと車間距離◇
- ◇凍結路面では、急ブレーキ、急ハンドルは禁物！◇
- ◇前方で・・・何が起こるかわかりません わき見は厳禁◇
- ◇前方で・・・何が起こるかわかりません 車間距離を十分にとりましょう◇

2024/12/23(月)

23日午前5時50分頃、宮城県の東北自動車道でワゴン車が路肩のガードレールに衝突して横向きに停止し、後ろを走っていた乗用車など2台が接触し、乗用車3台が絡む事故がありました。けがをした人はいないということです。ワゴン車を運転していた人から「滑ってガードレールにぶつかった」と警察に通報があったということです。事故当時、路面は凍結していてスリップが原因とみられています。